不利益処分の処分基準 個票

No. 4

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	第一種動物取扱業者の登録の取消し又は業務の全部若しくは一部の停止の命令
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第19条第1項
行政庁	静岡市長
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第12条及び第19条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第3条 第一種動物取扱業者及び第二種動物取扱業者が取り扱う動物の管理の方法等の基準を定める省令（令和3年環境省令第7号）第2条
処分基準	<p>基 準 (未設定の場合はその理由)</p> <p>1 処分に係る判断の基準</p> <p>(1) 動物の愛護及び管理に関する法律第19条第1項第1号に該当すると認められる場合に、第一種動物取扱業者の登録を取り消し、又はその業務の全部若しくは一部の停止を命ずるかどうか、これらの処分をする場合に具体的にどのような処分を選択するかは、不正の手段の内容、不正の程度、処分の名宛人となるべき第一種動物取扱業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>(2) 動物の愛護及び管理に関する法律第19条第1項第2号から第4号まで又は第6号のいずれかに該当すると認められる場合に、第一種動物取扱業者の登録を取り消し、又はその業務の全部若しくは一部の停止を命ずるかどうか、これらの処分をする場合に具体的にどのような処分を選択するかは、同項第2号から第4号まで又は第6号のいずれかに該当する事情の内容、その事情を放置した場合に生じ得る事態、処分の名宛人となるべき第一種動物取扱業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>(3) 動物の愛護及び管理に関する法律第19条第1項第5号に該当すると認められる場合は、処分をしないことが相当であると認められる特別の事情がある場合を除き、第一種動物取扱業者の登録を取り消すものとする。</p> <p>2 業務の停止を命ずる期間に係る判断の基準</p>

		<p>動物の愛護及び管理に関する法律第19条第1項第1号から第4号まで又は第6号の規定により第一種動物取扱業者の業務の全部又は一部の停止を命ずる場合に定める期間は、同項第1号から第4号まで又は第6号のいずれかに該当する事情の内容、処分の名宛人となるべき第一種動物取扱業者の言動その他一切の事情を考慮し定めるものとする。</p>
	<p>設 定 年 月 日</p>	<p>令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）</p>
<p>処分基準を公にしない場合は、その理由</p>		

行政指導指針 個票

No. 5

所管課かい名 動物愛護センター

行政指導の内容	第一種動物取扱業者に対する改善の勧告
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第23条第1項
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第21条及び第23条 第一種動物取扱業者及び第二種動物取扱業者が取り扱う動物の管理の方法等の基準を定める省令（令和3年環境省令第7号）第2条
行政指導	<p>1 勧告に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第1項の規定による勧告をするかどうか、勧告をする場合にどのような勧告をするかは、第一種動物取扱業者が遵守していない基準の内容、その状況を放置した場合に生じ得る事態、勧告の相手方となるべき第一種動物取扱業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第1項の規定による勧告をする場合に定める期限は、勧告に係る改善をするために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
内容（指針）	
設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
行政指導指針を公表しない場合は、その理由	

行政指導指針 個票

No. 6

所管課かい名 動物愛護センター

行政指導の内容	第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者に対する措置の勧告
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第23条第2項
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第21条の4、第22条、第22条の5及び第23条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第八条の二
行政指導	<p>1 勧告に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第2項の規定による勧告をするかどうか、勧告をする場合にどのような勧告をするかは、第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者が遵守していない規定の内容、その状況を放置した場合に生じ得る事態、勧告の相手方となるべき第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第2項の規定による勧告をする場合に定める期限は、勧告に係る措置をとるために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
行政指導指針を公表しない場合は、その理由	

不利益処分の処分基準 個票

No. 7

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者に対する措置の命令	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第23条第4項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	<p>動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第21条、第21条の4、第22条、第22条の5及び第23条</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第八条の二</p> <p>第一種動物取扱業者及び第二種動物取扱業者が取り扱う動物の管理の方法等の基準を定める省令（令和3年環境省令第7号）</p>	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 法令の定め of 文言の解釈又は判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第1項又は第2項の規定による勧告を受けた第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者がその勧告に係る措置をとらなかったことについて「正当な理由」がないと認められるかどうかは、その第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 処分に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第4項の規定による措置の命令をするかどうかは、第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者が遵守していない基準又は規定の内容、その状況を放置した場合に生じ得る事態、命令の相手方となるべき第一種動物取扱業者又は犬猫等販売業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>3 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第23条第4項の規定による措置の命令をする場合に定める期限は、勧告に係る措置をとるために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場合は、その理由		

行政指導指針 個票

No. 8

所管課かい名 動物愛護センター

行政指導の内容		第一種動物取扱業者であった者に対する勧告
根拠法令等及び条項		動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第1項
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第24条の2	
行政指導	内容（指針）	<p>1 勧告に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第1項の規定による勧告をするかどうか、勧告をする場合にどのような勧告をするかは、第一種動物取扱業者であった者による動物の飼養又は保管の状況、その状況を放置した場合に生じ得る事態、勧告の相手方となるべき第一種動物取扱業者であった者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第1項の規定による勧告をする場合に定める期限は、勧告に係る措置をするために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
行政指導指針を公表しない場合は、その理由		

不利益処分の処分基準 個票

No. 9

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	第一種動物取扱業者であった者に対する措置の命令	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第2項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第24条の2	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 法令の定め of 文言の解釈又は判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第1項の規定による勧告を受けた第一種動物取扱業者であった者がその勧告に係る措置をとらなかったことについて「正当な理由」がないと認められるかどうかは、その第一種動物取扱業者であった者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 処分に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第2項の規定による措置の命令をするかどうかは、第一種動物取扱業者であった者による動物の飼養又は保管の状況、その状況を放置した場合に生じ得る事態、命令の相手方となるべき第一種動物取扱業者であった者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>3 期限に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第24条の2第2項の規定による措置の命令をする場合に定める期限は、勧告に係る措置をとるために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場合は、その理由		

行政指導指針 個票

No. 10

所管課かい名 動物愛護センター

行政指導の内容	第二種動物取扱業者に対する改善の勧告	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第1項	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第23条及び第24条の4	
行政指導	内容（指針）	<p>1 勧告に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第1項の規定による勧告をするかどうか、勧告をする場合にどのような勧告をするかは、第二種動物取扱業者が遵守していない基準の内容、その状況を放置した場合に生じ得る事態、勧告の相手方となるべき第二種動物取扱業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第1項の規定による勧告をする場合に定める期限は、勧告に係る改善をするために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
行政指導指針を公表しない場合は、その理由		

不利益処分の処分基準 個票

No. 11

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	第二種動物取扱業者に対する措置の命令	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第4項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第23条及び第24条の4	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 法令の定め of 文言の解釈又は判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第1項の規定による勧告を受けた第二種動物取扱業者がその勧告に係る措置をとらなかったことについて「正当な理由」がないと認められるかどうかは、その第二種動物取扱業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 処分に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第4項の規定による措置の命令をするかどうかは、第二種動物取扱業者が遵守していない基準の内容、その状況を放置した場合に生じ得る事態、命令の相手方となるべき第二種動物取扱業者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>3 期限に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第24条の4第1項において準用する第23条第4項の規定による措置の命令をする場合に定める期限は、勧告に係る措置をとるために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場合は、その理由		

行政指導指針 個票

No. 12

所管課かい名 動物愛護センター

行政指導の内容	動物の飼養等により周辺の生活環境が損なわれている事態を生じさせている者に対する指導若しくは助言又は勧告
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第25条第1項又は第2項
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第25条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第12条
行政指導指針	<p>内容（指針）</p> <p>1 法令の定め of 文言の解釈又は判断の基準（動物の愛護及び管理に関する法律施行規則第12条）</p> <p>（1）「周辺住民」の「日常生活に著しい支障を及ぼしていると認められる」かどうかは、周辺住民の日常生活に及んでいる支障の内容及び程度を考慮して判断する。</p> <p>（2）周辺住民の日常生活に及んでいる支障が「周辺住民の間で共通の認識となっている」と認められる」かどうかは、その支障についての周辺住民からの苦情の申出等の内容、件数、頻度その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>（3）「周辺住民の日常生活に特に著しい支障を及ぼしているものとして特別の事情があると認められる」とは、周辺住民の日常生活に及んでいる支障が「周辺住民の間で共通の認識となっている」とまでは認められないが、直ちにその支障を除く必要があると認められることをいい、そのように認められるかどうかは、その支障の内容及び程度その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 指導等に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第25条第1項の規定による指導若しくは助言又は同条第2項の規定による勧告（以下「指導等」という。）の要件に該当すると認められる場合に、これらの指導等をするかどうか、これらの指導等をする場合にいずれを選択するかは、周辺住民の日常生活に及んでいる支障の内容及び程度、その支障を放置した場合に生じ得る事態、指導等の相手方となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>3 期限に係る判断の基準</p>

		指導等をする場合に定める期限は、周辺住民の日常生活に及んでいる支障の内容、その支障を除くために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。
	設 定 年 月 日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
行政指導指針を公表しない場合は、その理由		

不利益処分の処分基準 個票

No. 13

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	動物の飼養等により周辺の生活環境が損なわれている事態を生じさせている者に対する措置の命令	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第25条第3項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第25条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第12条	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 法令の定め of 文言の解釈又は判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第25条第3項の規定による命令をすることについて「特に必要があると認める」かどうかは、周辺住民の日常生活に及んでいる支障の内容及び程度、その支障を放置した場合に生じ得る事態、処分 of 名宛人となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 処分に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第25条第3項の規定による命令の要件に該当すると認められる場合は、命令をしないことが相当であると認められる特別の事情がある場合を除き、同項の規定による命令をするものとする。</p> <p>3 期限に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第25条第3項の規定による命令をする場合に定める期限は、周辺住民の日常生活に及んでいる支障の内容、勧告に係る措置をとるために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場合は、その理由		

行政指導指針 個票

No. 14

所管課かい名 動物愛護センター

行政指導の内容		動物が虐待を受けるおそれがある事態を生じさせている者に対する措置の勧告
根拠法令等及び条項		動物の愛護及び管理に関する法律第25条第4項
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第25条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第12条の2	
行政指導	内容（指針）	<p>1 勧告に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第25条第4項の規定による勧告をするかどうか、勧告をする場合にどのような勧告をするかは、現に生じている事態の内容及び程度、その事態を放置した場合に生じ得る事態、勧告の相手方となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第25条第4項の規定による勧告をする場合に定める期限は、現に生じている事態の内容、その事態を改善するために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
行政指導指針を公表しない場合は、その理由		

不利益処分の処分基準 個票

No. 15

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	動物が虐待を受けるおそれがある事態を生じさせている者に対する措置の命令	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第25条第4項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第25条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第12条の2	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 処分に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第25条第4項の規定による命令をするかどうか、命令をする場合にどのような命令をするかは、現に生じている事態の内容及び程度、その事態を放置した場合に生じ得る事態、命令の名宛人となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 期限に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第25条第4項の規定による命令をする場合に定める期限は、現に生じている事態の内容、その事態を改善するために通常必要とされる期間その他の一切の事情を考慮して定めるものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場合は、その理由		

申請に対する処分の審査基準・標準処理期間 個票

No. 16

所管課かい名 動物愛護センター

許認可等の内容	特定動物の飼養又は保管の許可	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第26条第1項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第26条及び第27条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第13条の2及び第17条	
審査基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 許可に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第27条第1項各号に適合していると認められる場合は、許可をしないことが相当であると認められる特別の事情がある場合を除き、許可をするものとする。</p> <p>2 許可に付する条件に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第27条第2項の「特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止のため必要があると認めるとき」に当たり、許可に条件を付するかどうか、付する場合にどのような条件を付するかは、その特定動物によって生じ得る侵害の内容、その侵害が生ずる可能性の程度等の事情を考慮して判断する。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
標準処理期間	標準処理期間 (未設定の場合はその理由)	15日
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）

申請に対する処分の審査基準・標準処理期間 個票

No. 17

所管課かい名 動物愛護センター

許認可等の内容	特定動物の飼養又は保管の変更の許可	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第28条第1項	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第26条から第28条まで 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第13条の2及び第17条	
審査基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 許可に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第27条第1項各号に適合していると認められる場合は、許可をしないことが相当であると認められる特別の事情がある場合を除き、許可をするものとする。</p> <p>2 許可に付する条件に係る判断の基準</p> <p>動物の愛護及び管理に関する法律第27条第2項の「特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止のため必要があると認めるとき」に当たり、許可に条件を付するかどうか、付する場合にどのような条件を付するかは、その特定動物によって生じ得る侵害の内容、その侵害が生ずる可能性の程度等の事情を考慮して判断する。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
標準処理期間	標準処理期間 (未設定の場合はその理由)	15日
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）

不利益処分の処分基準 個票

No. 18

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	特定動物の飼養又は保管の許可の取消し	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第29条	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第26条、第27条及び第29条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第13条の2及び第17条	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>1 動物の愛護及び管理に関する法律第29条第1号に該当する場合における処分に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第29条第1号に該当すると認められる場合に、特定動物飼養者の許可を取り消すかどうかは、不正の手段の内容、不正の程度、処分の名宛人となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>2 動物の愛護及び管理に関する法律第29条第1号の2、第2号又は第4号に該当する場合における処分に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第29条第1号の2、第2号又は第4号のいずれかに該当すると認められる場合に、特定動物飼養者の許可を取り消すかどうかは、同条第1号の2、第2号又は第4号のいずれかに該当する事情の内容、その事情を放置した場合に生じ得る事態、処分の名宛人となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。</p> <p>3 動物の愛護及び管理に関する法律第29条第3号に該当する場合における処分に係る判断の基準 動物の愛護及び管理に関する法律第29条第3号に該当すると認められる場合は、処分をしないことが相当であると認められる特別な事情がある場合を除き、特定動物飼養者の許可を取り消すものとする。</p>
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場		

合は、その理由	
---------	--

不利益処分の処分基準 個票

No. 19

所管課かい名 動物愛護センター

不利益処分の内容	特定動物飼養者に対する措置の命令	
根拠法令等及び条項	動物の愛護及び管理に関する法律第32条	
行政庁	静岡市長	
法令の定め	動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）第26条から第28条まで、第31条及び第32条 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第20条	
処分基準	基準 (未設定の場合はその理由)	動物の愛護及び管理に関する法律第32条の「特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止のため必要があると認めるとき」に当たり、同条の規定による措置の命令をするかどうか、命令をする場合にどのような措置を命ずるかは、違反の内容及び程度、その違反を放置した場合に生じ得る事態、処分の名宛人となるべき者の言動その他の一切の事情を考慮して判断する。
	設定年月日	令和6年12月24日設定（令和6年12月24日最終設定）
処分基準を公にしない場合は、その理由		